

令和3年度神戸市各会計予算及び関連議案に対する

各会派の意見表明

〔自由民主党〕

自由民主党神戸市議員団は、令和3年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計47議案について、以下の理由により要望14件を付して承認します。また、「予算第1号議案 令和3年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議及び第14号議案に対する修正案については、反対します。

理由

令和3年度予算案は、令和2年度2月補正予算と合わせて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復を最優先し、神戸市独自の支援策を創設するなど、市民の命と健康を守ることに取り組むとされている点は評価します。

またwithコロナ、ポストコロナの時代の対応だけでなく、人口減少・少子高齢化などの社会変化にも対応するためには、街の魅力と活力を高める成長戦略を実施し、更なる成長を促すという好循環を目指す点も必要です。

「スマート自治体」の実現に向けて作成された「行財政改革方針2025」に全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築し、市民生活の利便性向上と豊かさにつながることを期待し、令和3年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

要望事項

1. 新型コロナウイルス感染症の感染者に対する偏見・差別等を防止する取組を一層強化すること。
2. 水素スマートシティ神戸構想推進の観点から、公用車や市バスへのFCV導入と、都心部への水素ステーション設置を推進すること。
3. 人口減少社会においても市民サービスを維持するため、増税に頼らない増収策を検討すること。
4. 重度障害者が就労中も重度訪問介護を利用できるよう、重度障害者の自宅就労や自営に対する支援制度を導入すること。
5. 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の確立のため、グループホームの整備促進等を通じて、長期入院精神障害者等の地域移行支援と地域定着支援を拡充すること。
6. 切れ目ない子育て支援として、子育て、産前・産後のコミュニティー情報共有の場を、民間活用も含めて支援すること。

7. 現在，コロナ禍で十分な支援を受けられていない中小事業者がいることも踏まえて支援策を検討すること。
8. 六甲山上の歩道を着実に整備することに加えて，車を寄せられるスペースを車道に整備すること。
9. 新垂水体育館への動線上にある福田川交差点の歩道橋のバリアフリー化を行うこと。
10. 高丸 I C 前交差点の改良 2 期工事早期着工など，市内の深刻な渋滞箇所の改善に早期に取り組むこと。
11. 六甲アイランドの A O I A の跡地利用については，活性化のために女子サッカーのスタジアムを建設し，各種イベントにも利用させると共に，大型商業施設や保育所等の誘致に努めること。
12. 水道局垂水センターの統合は，垂水区及び西区の災害対応は万全であるとの実地検証を行い，その結果を公表すること。
13. 学校の見える化について，神戸のスマートシティの一つとして新しい技術で取り組むこと。
14. 教育委員会は学級崩壊という問題に真摯に向き合い，日常的な P D C A サイクルのチェックによる検証と改善を継続的に行うこと。また学級崩壊の状態を早期に解消するため，組織的かつ迅速に対応する研修や訓練を行うこと。

[公明党]

公明党神戸市議員団は，令和 3 年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対して要望 6 件を付し，承認いたします。なお，「予算第 1 号議案 令和 3 年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議及び第 14 号議案に対する修正案については反対いたします。

理由

令和 3 年度予算案は，喫緊の課題である新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ，市民生活・経済活動の維持・回復，ウイズコロナ・ポストコロナの新たな時代に対応した先進的施策を打ち出す一方，公明党議員団が訴えてきた生活困窮者やひとり親家庭への支援，がん対策としてウィッグなどの用具購入に係る負担軽減や，ヤングケアラー専門部署の設置，こども医療費助成の拡充など，庶民の暮らしを守る多くの施策を実現されたことは，大いに評価しています。

また今市民の関心の高いワクチン接種についても，わが議員団の要望に応じて，身近なかかりつけ医を中心に接種を行う体制を整備されていることも，医療関係者に感謝申し上げるとともに当局の取り組みを評価したいと思います。今後，市民に的確かつ分かりやすい情報提供に努め，円滑なワクチン接種を進めて行くことを期待します。

久元市長は，新型コロナウイルス禍による個人・社会の動態変化，また，A I や I

OT, M a a s といったコンピュータ, 通信, センサーなどの新技術の登場とその急速な進歩による社会構造の変化, そして社会における「孤独」の進行という市民生活実態の変化などがもたらす諸問題に, 積極的かつ迅速に対応しようとしています。

その着眼点, 対処方針, 具体の施策いずれも極めて先進的であると評価しています。ただ, これを具体的に執行するとき, 実際の執行に携わる職員の自律性に即した創意工夫とそのための余裕, 組織体制が不可欠です。そして, 市民の参画と協働を強化することが, この成否を決すると言って過言ではありません。これらに特段の配慮を求めるものです。

以上の要望と以下個別の要望事項 6 件を付記して, 予算案及び関連議案について賛成いたします。

要望事項

1. 暮らし支援窓口の体制強化でコロナ禍で急増している生活困窮者への支援の充実を図ること。
2. こども・若者ケアラーへの支援については, NPO, 地域団体等への支援・連携を強化し, 地域社会全体で支援できる体制を目指すこと。
3. フレイル予防・医療費抑制の一つとして市所有のスポーツ施設の個人利用料金にシニア割引を導入すること。
4. 気象における専門的な知見を持つ気象台OB・OGに「気象防災アドバイザー」を委嘱・活用し, 地域防災力の向上に努めること。
5. 「防災行政無線」の活用について, 音声に加えて災害種別が認識できるようなサイレンによる情報発信を行うとともに, その周知徹底に工夫し取り組むこと。
6. 単身高齢世帯への「住宅用火災警報器」の設置については, 福祉局と連携し 100%を目指すこと。また電池交換などの維持管理についても連携して周知徹底を図ること。

〔日本維新の会〕

日本維新の会神戸市会議員団は, 令和 3 年度神戸市各会計予算案並びに関連議案, 合計 47 議案について, 以下の理由により要望 20 件を付して承認いたします。また, 予算第 1 号議案 令和 3 年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議に関しては, 反対いたします。なお, 第 14 号議案に対する修正案についても反対いたします。

理由

いまだ予断を許さない新型コロナウイルス感染症に対して市民生活と神戸経済を守るための, ひとかたならぬ神戸市職員の取り組みに, 敬意を表します。未曾有のコロナ禍で市民の命を守りながら, 神戸経済の回復と成長を両立させることは容易では

ありません。市税減収のなかで厳しいながらも組まれた令和3年度予算案については一定の評価をいたします。

しかし、コロナ禍にありながらも、社会情勢の変化に伴った積極的な事務事業の見直しを行い、民間投資も呼び込むという発想で、限りある中から財源を生み出し、効果的に施策を実行しなくてはなりません。そして、選択と集中により、神戸市民の安定的な医療提供体制、神戸経済の回復、都市の持続的な成長を実現させることが必要であります。

厳しい状況の中ではあるものの、今後も引き続き役割を終えた外郭団体の見直しなど行財政改革を強力に推し進め、DXや働き方改革による一層の効率的な行政運営を行い、子育てしたい街、学びたい街、働きたい街、住み続けたい街として選ばれるような、施策を推進することに期待をし、令和3年度各会計予算案ならびに関連議案を承認いたします。

要望事項

1. 新型コロナ感染者の自宅療養者には、オンライン診療の導入・かかりつけ医の紹介・配食などの支援の拡充を行うこと。
2. コロナワクチン接種について、市民の悩みや疑問を解消できるよう、専用コールセンターの他にHPにFAQの充実、チャットボットの活用を行い、市民に寄り添った広報に努めること。
3. 新型コロナウイルス感染関連の医療機関・保健所の事務事業の改善、効率化を図ること。
4. コロナ禍で落ち込んだ神戸経済の回復に向けては、本市独自の支援策に加えて、国にも支援要望を行い状況に応じて支援策を講じること。
5. オンライン商談会の更なる拡大を実施し、ケミカルシューズ等の地場産業の参加を促進すること。また、非接触型の商談会の実施型である仮想空間内での3DCG商談会の検討をすること。
6. コロナ禍で落ち込んだ神戸経済を下支えするには、MICE誘致は重要な施策であり、企業インセンティブツアーは具体的な需要があることから、積極的な誘致に取り組むこと。
7. 厳しい情勢にある神戸港の港勢回復に向け、連携協定(MOU)を締結している東南アジア諸国とネットワークを活用しながら広域的な集貨に積極的に取り組むこと。
8. 人事制度の新4級設置に伴い、各職場における業務内容・役割について具体化し共有していけるよう、行財政局としても取り組むこと。
9. BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)の実施により利用者の利便性や職員の業務生産性の向上、コスト削減など、スピード感を持って進めていくこと。
10. DX(デジタルトランスフォーメーション)を組織内で強力に推進するために、

内部人材の確保と育成，民間人材の登用を積極的に図ること。

11. 地下鉄の勤務時間の明確化，勤退管理システムの導入を行い，職員の業務稼働率と生産性の向上を図り，地下鉄ワンマン化を含めたあらゆる経費の節減を行うこと。
12. 新型コロナウイルス拡大前に計画された三宮再整備事業や関連事業に関しては，コスト圧縮を含め，市民から何が求められているのか新たな視点で検証を行うこと。
13. 「さんちか」の再整備は，各局が一丸となって連携を行い，一体感がある地下街になるよう取り組むこと。
14. 温かく美味しい中学校給食の提供・全員喫食制の導入にあたり，あらゆる面から検討を行い，スピード感をもって進めていくこと。また全員喫食制に移行するまで，ランチボックス方式に保温食缶を早急に活用し提供すること。
15. G I G Aスクール構想において，児童生徒が学校や家庭でタブレット端末を扱うことになり，不適切な使用を防止するためにも，まず教育活動での使用を目的とした情報モラルをしっかりと教えること。
16. 外郭団体の役割を明確化し，時代や環境の変化に対応しているか検討の上，外郭団体の活用・新設・廃止の取組を進めること。
17. 市バス2タッチ化の情報は，利用率や混雑状況など市民へ「見える化」を行い，路線の検証と改善・増収に活用すること。
18. 南海トラフ巨大大地震等の大規模広域災害をはじめ，激甚化する風水害や国民保護事案等様々な危機事象に対する備えを，市民生活を守るためにも，あらゆる想定をしながら取り組むこと。
19. 学童保育については，新型コロナ感染症対策と児童生徒の健全な発育のためにも，教育委員会・学校現場等と連携を強化しながら運動場・体育館の利活用を拡大すること。
20. L G B T Qの方が，いわれなき差別を受け，それを誰にも相談できずに苦しむことがないように，専用の相談窓口を設けること。

[日本共産党]

令和3年度神戸市各会計予算案について，予算第1号議案，予算第4号議案，予算第10号議案，予算第15号議案について，必要な編成替えを行うことを求める動議を提出しており，この動議に賛成いたします。

また，予算関連議案の第14号議案について，子供の医療費完全無料化を行うことを目的として修正案を提案しており，この修正案に賛成します。

予算第3号議案，予算第5号議案から予算第7号議案，予算第12号議案及び予算第19号議案の6議案並びに予算関連議案のうち，第2号議案，第5号議案から第7号議案，第10号議案，第12号議案，第18号議案，第19号議案，第22号議案，第24号議案，第25号議案，第27号議案，第28号議案の13議案，合計19議案については賛成します。

予算第2号議案, 予算第8号議案, 予算第9号議案, 予算第11号議案, 予算第13号議案, 予算第14号議案, 予算第16号議案から予算第18号議案の9議案並びに予算関連議案のうち, 第1号議案, 第3号議案, 第4号議案, 第8号議案, 第9号議案, 第11号議案, 第13号議案, 第15号議案から第17号議案, 第20号議案, 第21号議案, 第23号議案, 第26号議案の14議案, 合計23議案については反対します。

なお, 予算組み替え動議が否決された場合は, 予算第1号議案, 予算第4号議案, 予算第10号議案, 予算第15号議案には反対します。

第14号議案の修正案が否決された場合は, 第14号議案には賛成します。

理由

第1の理由は, コロナ禍から市民の命と暮らしを守る予算となっていないからです。

この間, 医療機関や介護施設等で多くのクラスターが発生し, 病床のひっ迫をうみました。検査体制, 医療体制の強化は急務です。一方, コロナ患者の受け入れをしていない医療機関への支援策はほとんどありません。医療機関では, 感染の危機にさらされながら頑張る医療従事者に対して, ボーナスさえカットせざるを得ない状況です。地域医療を守るためにも, 全ての医療機関への減収補填を行うべきです。

中小企業への支援についても不十分です。新型コロナウイルス感染症の拡大で, 緊急事態宣言の再発令が行われ, 中小企業はさらなる苦境に立たされています。いまなお時短要請は続いており, 家賃負担軽減緊急一時金, 事業所税の減免だけでは, 救われない中小業者を多く残すこととなります。地域経済を支えてきた中小業者が営業をつづけられるようにするために規模の面でも, 期間の面でも支援を拡大すべきです。

第2の理由は, 計上された予算が, 三宮再整備など大型開発に偏重し, 子どもたちや市民の暮らし最優先になっていないからです。

久元市長は, 8年前の選挙時子どもの医療費無料化を公約に掲げながら, 外来受診の一部負担金を残すことに固執しています。高校生の入院無料化による助成金の増額は, わずか1800万円です。子どもの医療費は, 入院, 外来ともに完全無料とすべきです。

また, 少人数学級は, 今後5年間で小学校6年生まで進めるとされていますが, 文科省の計画から一歩も出ていません。すみやかに小学校や中学校で前倒しで実施し, 高校へと進めるべきです。またそのためにも学校の統廃合を中止し, 計画的に整備をすすめるべきです。

中学校給食についても, 市民の声に押され, 温かい, 全員喫食の給食へ調査費が計上されました。しかし民間事業者による調理が前提となっています。子どもたちが望む, 小学校のような自校調理方式の実施を正面から検討するべきです。

また, 新年度予算では, 都心・三宮の再整備に151億円をはじめとして, 数百億円もの大型開発予算が計上されています。市民は, 自粛生活を余儀なくされている下でも, 市長は「立ち止まらない」とコロナ以前と同様に, 大規模工事が進められています。

一方、求められているコロナ対策の拡充に対しては、「限られた財源」を理由に拒否しています。不要不急の大型開発を聖域とせず大胆に見直し・中断し、コロナ対策最優先の予算とするべきです。

本予算は、「行財政改革方針 2025」と事務事業の見直しで、市民サービスや福祉の切り捨て、職員削減を進める予算となっています。

阪神・淡路大震災の経験から、高齢化率の高い公営住宅の見守りの拠点として役割を果たしているあんしんすこやかルームを、コロナ禍で高齢者の不安が強まっている時に廃止しようとしています。さらに市民が様々な相談に訪れる区役所窓口を民間委託し、5か所ある水道局センターを廃止し、業務を1か所ないし3か所への再編が計画されています。コロナの影響で、市民のくらしが大変なときこそ、行政のアウトリーチ機能をこれまで以上に果たすことが求められています。また、市営住宅を10年で7000戸削減し、一律の基準でバス路線を廃止縮小するなど、これ以上の公的責任の後退はゆるされません。

こうした住民サービスの切り捨てと一体に、大幅な職員削減が計画されていますが、これでは災害対応や感染症対策がますます困難になるのは火を見るよりも明らかです。

コロナ禍のもとで、これまでの保健所の統廃合が神戸市の公衆衛生を脆弱なものとしてきたことが明らかになりました。しかし新年度予算では、衛生監視事務所を5か所から2か所に再編し、衛生監視員を削減しようとしていることは、再び公衆衛生の後退を招くものです。

震災やコロナの教訓を踏まえ、市民に寄り添わない予算は認められません。

なお、2会派が提出した、神戸市乳幼児等医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の件に対する修正案は、市長が反故にした医療費完全無料化を実現するものです。

また、日本共産党市会議員団が提案した予算の編成替えを求める動議は、市長提案の予算から三宮再整備や、大阪湾岸道路西伸部延伸などの大型開発等不要不急の施策を削減するとともに、財政調整基金を活用することで財源対策を行っています。それによりコロナの影響で苦闘する中小企業、医療機関への支援や市民の暮らし応援、子ども医療費無料化や35人学級の小中学校で実施など市民の願いに答える提案としていることを申し添えておきます。

[立憲民主党]

立憲民主党神戸市会議員団は、令和3年度当初予算並びに関連議案47議案について要望18件を付して原案のとおり承認いたします。

また、「予算第1号議案 令和3年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議及び、「第14号議案 神戸市子ども医療費助成に関する条例及び神戸市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の件に対する修正案」は、原案

を承認するため反対いたします。

理由

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、二度の緊急事態が発生され、市民生活や神戸経済にも大きな影響を与えました。令和3年度の市税収入総額は、前年度比マイナス149億円の2,915億円となりましたが、投資的経費が66億円伸び968億円確保され、福祉・教育を含む人への投資にも予算が確保されたことを評価いたします。

しかしながら、コロナ禍以前からの課題であった人口減少や超高齢社会への対応をはじめ、激化する都市間競争など依然として多くの解決すべき課題が山積をしています。withコロナ、ポストコロナ時代に向け、神戸経済の回復につながる施策に取り組み、引き続き豊かさが実感でき、神戸市民が安心安全に暮らせるまちづくりに全力を傾けられるよう強く要望し、予算案並びに関連議案を承認いたします。

要望事項

1. 神戸に住み、働き、子育てする若者が増えるよう、全庁横断的な職員によるプロジェクトチームを組織し取り組まれたい。
2. 燃料電池バスの導入及び水素ステーションの増設を含めた、水素スマートシティ構想のさらなる推進に取り組まれたい。
3. 気軽に利用できる移動手段として、電動キックボードの本格運用に向けて取り組まれたい。
4. 国際金融センターの誘致に取り組まれたい。
5. 特別自治市の実現を目指すとともに、市民への周知徹底を図られたい。
6. 都市型創造産業の集積と定着を図られたい。
7. 行財政改革方針2025による職員数削減については、目標数値の達成のみを目標とせず、市民サービスが低下しないか、想定外の事故や災害にも対応できるのか十分に検証した上で行われたい。
8. 男性職員の育児休業については、取得率の向上と併せて取得日数が向上するよう取り組まれたい。
9. 女子ラグビーの振興を図られたい。
10. NHK大河ドラマの神戸誘致を図られたい。
11. 新型コロナワクチン接種については、国の動向を注視しながら、スケジュールについて市民に周知されたい。
12. 新型コロナワクチン接種に不安を抱いている市民へ、細やかな情報提供をされたい。
13. さらなる医療体制の拡充に努められたい。
14. 増加する児童虐待やDVを未然に防ぐ対策を講じられたい。
15. 女性消防職員の新規採用を進めるとともに、さらに活躍の場を広げるため、消防

署・出張所の環境整備を図られたい。

16. G I G Aスクール構想の推進にあたっては、児童生徒の視力低下やインターネット依存症に陥らないよう、健康状況を確認しながら進めるよう対策を講じられたい。
17. 新学習指導要領に則した学びの実現のために必要不可欠である ICT 支援員のさらなる拡充に努められたい。
18. 学校給食におけるアレルギー対応については、市内すべての学校が同じ対応となるよう取り組まれたい。

[つなぐ]

つなぐ神戸市会議員団は、令和 3 年度神戸市各会計予算のうち、予算第 1 号議案、予算第 4 号議案、予算第 9 号議案、予算第 10 号議案、予算第 18 号議案、以上、予算 5 議案および、予算関連議案のうち、第 11 号議案、以上、合計 6 議案について、下記の理由から反対します。

なお、第 14 号議案に対する修正案を提出しており、この修正案については賛成し、修正案が否決された場合には、原案に賛成します。

また、「予算第 1 号議案 令和 3 年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、評価できるものも多いが、いくつかの項目で考え方などに違いがあるため反対します。また、その他の議案については賛成いたします。

理由

反対する主な理由は次の通りです。

1. 今後の財政収支見通しで 2026 年度には with コロナの追加需要も加わり、436 億円もの累積赤字が見込まれ、さらに、来年度以降も三宮再整備、大阪湾岸道路西伸部などに伴う投資的経費が増加し、市税収入の増加も見込めない中で、新型コロナによる経済状況の影響は殆ど無いとして、三宮再整備事業の見直しを行おうとしないため。
2. 須磨水族園再整備事業は新型コロナ感染拡大前に計画されたもので、年間 200 万人の入場者数を見込む新しい水族園は、当初の予定通り目標が達成されるのか疑問であり、水族園の解体撤去など、新型コロナの影響を踏まえた再整備スケジュールの見直しを行わないため。
3. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰り入れを全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしていけないため。
4. 年金引き下げや新型コロナなどの影響で、高齢者の暮らしがますます厳しくなる中で、第 8 期介護保険事業計画期間の 65 歳以上の第 1 号介護保険料について、基準月額を引き上げるため。
5. 借り上げ住宅の継続入居を求め続けている震災被災者世帯に、話し合いでの決着を目指さず、部屋の明け渡しと期限後の賃料相当額の損害賠償を求め提訴し、被災

者の生活を支え、安心して暮らせる解決策を取ろうとしないため。

6. 市内5センターや本庁などの再編に伴い、水道料金関係業務の民間委託や集約、配水管等工事関係業務の再編、本庁機能の移転などで、職員への負担増加や、市民サービスの低下を招こうとしているため。
7. 須磨多聞線の整備について、神戸市は公害調停での協議を拒否し、過去の中央幹線整備の際の、自治会との合意を無視して工事を強行し、住民が公金差し止めを求め、神戸市を提訴する事態になっているため。

[共創・国民民主]

共創・国民民主神戸市議員団は、令和3年度各会計予算案及び関連議案、合計47件を以下の理由により、要望12件を付して、承認します。また、予算第1号議案等の編成替えを求める動議と予算第14号議案に対する修正案については反対します。

理由

令和3年度の神戸市一般会計において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と医療提供体制の安定的確保に軸足を置きつつ、市民生活および行政サービスの維持向上に配慮した予算案であることを評価します。

しかしながら、新たな経費負担増により財政状況は予断を許さない状況であることから、大胆な業務改革および事業見直しを継続的に行うことが必須であります。

改めて、人口減少・超高齢化社会に対応した魅力ある施策展開を行うと同時に、市民が誇りを持てる社会福祉施策の一層の充実を期待いたします。

要望事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策において、スーパーコンピューター富岳を最大限活用し、原因の究明と予防対策に万全を期すこと。
2. 特別自治市の実現にあたっては、市長の強いリーダーシップの下、法制化などの課題のクリアに向けて全力で取り組むこと。
3. コンプライアンスの徹底およびハラスメント対策に努め、市政の健全化を図ること。
4. 国内初のヘルスケアデータ連携システムの運用により、市民一人一人の健康管理に資する体制の整備に努めること。
5. 生活困窮者等への学習支援を推し進めるとともに、文化・スポーツ的な能力を伸ばすため、習い事クーポンの発行を検討すること。
6. 王子公園およびポートアイランドスポーツセンターの再整備に関しては、30年後を見越したビジョンを持ち、先進的な事業計画を策定すること。
7. 公園不足が指摘されている摩耶小学校区においては、早急に公園用地の確保に努めるとともに、防災空地の活用を視野に、建設局と都市局の連携を図ること。

8. 摩耶山の再整備については、六甲山と摩耶山でゾーニングを守りながら、現在定着している市民活動と観光の両立を図ること。
9. 電気自動車の普及を促進するため、充電設備箇所の拡充や取得に対する補助の充実など、市として包括的な戦略を構築すること。
10. 神戸電鉄沿線の活性化に関しては、駅前広場の整備を含む駅周辺のリノベーションについては、神戸三田線のみならず、粟生線についても積極的に取り組むべく地元との調整に努めること。
11. 市営住宅第3次マネジメント計画の中で、大規模団地といわれる住宅については、思い切った統廃合を進めること。また、再編後に発生する余剰地の活用については、周辺の住民のニーズも十分に踏まえて対応すること。
12. 西神中央駅周辺のショッピングセンターの駐車場サービスについては、新しくグラウンドオープンする店舗の活性化に資するべく、既存のOMこうべの駐車サービス制度と同様の制度を導入するなど、制度の共通化を早急に検討すること。

【国民民主党・友愛】

国民民主党・友愛神戸市会議員団は、令和3年度各会計当初予算（案）、及び関連議案合計47件を下記理由及び要望10件を付して承認いたします。

また、「予算第1号議案 令和3年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議、及び、第14号議案 神戸市子ども医療費助成に関する条例及び神戸市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の件に対する修正案には、原案を承認するため反対いたします。

理由

令和3年度当初予算（案）は、令和2年度2月補正と合わせて一体的に切れ目なく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組んでいます。

しかし、新型コロナウイルス感染症の出現前にあった、少子高齢化社会の到来、人口減少、障害者福祉、子育て支援策など神戸市の抱えている課題は依然として多く残っています。

そのような状況下の中、新型コロナウイルス対策、輝く子どもたちの未来に向けて、神戸経済を伸ばす、市政改革を進めるなど、市民の命と健康を守り、withコロナの新時代をリードする施策を積極的に展開しようとしていることは評価できます。

新型コロナウイルス感染症拡大は、未だに収束の兆しが見えませんが、ワクチンの接種も始まり、収束に向けて市民の期待感も大きくなっています。今後は医療提供体制の充実、打撃を受けた神戸経済の立て直しに全力を注ぐとともに、「行財政改革方針2025」を着実に推し進めながら、残された課題の解決に向けてスピード感を持って取り組んでいかれることを期待して、令和3年度予算（案）並びに関連議案を承認い

たします。

要望事項

1. 新型コロナウイルスワクチン接種に関しては、市民が安心してスムーズに接種できるよう努められたい。
2. コロナ禍で打撃を受けた市内事業者に対して、きめ細かな財政支援策を図られたい。
3. 「行財政改革方針 2025」を着実に推進されるとともに、スクラップ&ビルドを市民に分りやすく明確化されたい。
4. こべっこランド・こども家庭センターの移転については、周辺地域とも密接に連携を取って、保護者、子どもたちにとってより良い施設となるよう取り組まれたい。
5. 中小企業DXお助け隊について、中小企業経営者が企業文化・風土を変える気概を持ってDXを推し進められるよう取り組まれたい。
6. 神戸の子どもたちに海に親しむ機会づくりを進め、海事人材育成に努められたい。
7. 「こども 本の森 神戸」について、新たな賑わい施設となるよう、親子で訪れたいような周辺環境の整備を図られたい。
8. 学校施設の安全・整備に向けた管理・点検業務を民間企業に包括委託することにより、教職員の多忙化軽減対策となるよう取り組まれたい。
9. 連節バス（ポートループ）においては、安全に運行できるよう周辺の環境整備に努めるとともに、神戸の観光の目玉となるよう取り組まれたい。
10. 第3次市営住宅マネジメント計画に関しては、入居者の高齢化を鑑み、可能な限りスピード感を持って取り組まれたい。

【平野（章）委員】

令和3年度神戸市各会計予算案並びに関連議案合計 47 議案について承認します。

また「予算第1号議案令和3年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議及び第14号議案に対する修正案については反対します。

【松本（し）委員】

令和3年度神戸市各会計予算並びに関連議案、合計 47 議案について、要望7件を付して以下の理由により承認いたします。

又、令和3年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議及び第14号議案 神戸市こども医療費助成に関する条例及び神戸市ひとり親家庭等医療助成に関する条例の一部を改正する条例の件に対する修正案については、原案を承認するため反対をします。

理由

令和3年度予算は、人口減少・少子超高齢化社会の中、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・ワクチン接種等々の様々な医療提供体制の確保、生活再建対策や神戸経済の回復・成長対策の推進、並びに新しい生活様式（デジタル化社会）に対応する様々な課題解決に向け、策定された「7つの柱」での取組に期待し、令和3年度神戸市当初予算並びに関連議案を承認いたします。

要望事項

1. 神戸市民の安全・安心のため新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を一層推進し、全庁あげて万全を期すよう要望します。
2. 神戸港の国際コンテナ戦略港湾施策については、引き続きコロナ禍における国の支援策と併せて、神戸港の集貨・創貨・競争力強化、内航フィーダー網の充実強化等々、一層の支援強化を図られたい。
3. 外国人介護人材の需要が高まっている中で、日本語学習支援の推進と、すでにN3レベルの日本語を取得している外国人介護人材には介護福祉士資格取得に向けた支援を一層強化し神戸に定着する介護人材の確保とするよう取り組まれたい。
4. 道路法が改正され、歩行者利便増進道路、いわゆる、ほこみち制度がはじまり、イベントやキッチンカーを含めたカフェテラスなど、街のにぎわいづくりのため、三宮だけでなく、神戸市内商業事業者とのヒアリングを積極的に行い、道路空間の有効活用による街のにぎわいづくりにつながるよう取り組まれたい。
5. 高層建築物の火災対応については、高層階での火災が発生した場合は消防活動が困難になることから、住民の安全性確保のため、消防局の役割として管理会社に対しては住民との合同訓練を確実に実施するよう指導されたい。
6. 医療従事者に対する風評被害対策として、動画作成による正しい知識の周知と併せて学生さんや子供たちによる医療従事者皆さんへの応援メッセージを多く集め、市民に公表されたい。
7. 水道修繕受付センターによるアンケート用紙を水道悪質業者対策として活用し、アンケート用紙に苦情欄を設ける、修繕依頼人の氏名・住所・連絡先等を明記する欄を設けることで市民に対応することで、悪質業者予防対策とされたい。

〔上原委員〕

令和3年度神戸市各会計予算及び関連議案合計47件を下記の理由及び要望10件を付して、認定並びに承認いたします。

また、予算第1号議案令和3年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議、第14号議案 神戸市こども医療費助成に関する条例及び神戸市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の件に対する修正案については反対いた

します。

理由

令和3年度予算は、コロナ禍の財政難の中でも投資的経費を捻出し、市民サービス向上を図る新規・拡充事業が多く、期待をしているためです。

要望事項

1. 新型コロナウイルスの影響で減収となった市内企業等に対して引き続き有効な支援をすること。困窮する事業者への貸し渋りを改善するように、保証協会等に強く働きかけること。
2. 新型コロナウイルスワクチンの安全性やリスクを市民に周知した上で、スムーズな接種を推進し、感染症の早期終息に尽力すること。
3. いじめやDV・虐待を見逃さず、失う命が無いよう更なる尽力をすること。
4. 温かい中学校給食の提供を進めるとともに、シェフのレシピ・監修を取り入れ、早期に味の向上を実現すること。
5. 民間委託に伴い、新たな業務を付け足すのではなく、定数を見直し、必要に応じ早期退職者募集等で人員削減をすること。
6. 労務職員の年収を、民間同業種並みに削減すること。
7. 交通局の収支改善は、減便だけに依らない効率化に努めること。特に、乗客が極端に少ない路線については、早期に小型の移動手段への転換を公共交通として講じること。また、4月の減便以降、それ以上に乗客が減らない路線に対し、更なる減便を行わないこと。
8. 委託や指定管理、入札等事業の市内発注をさらに徹底すること。また、なれあい発注を撲滅し、新規事業者が応募しやすい公募制度・広報に努めること。
9. ホームページや広報紙に掲載するだけでなく、市民一人一人に伝わる情報発信に努めること。
10. 猟友会のみで頼らない有害鳥獣対策に変換し、農家の早期被害軽減に努めること。

[村上委員]

令和3年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項7件を付して承認し、予算第1号議案等の編成替えを求める動議、第14号議案に対する修正案については、原案を承認することから反対いたします。

理由

新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止や医療提供体制の充実、外出自粛等によりダメージを受けた事業者への支援などに関する予算が大きく計上されていることに加えて、神戸経済の成長に欠かせない投資に関する予算も十分に計上さ

れているなど、今日の情勢を鑑みると必要不可欠な予算が計上された、非常に積極的な予算案となっていることを高く評価しており、以上の理由から、令和3年度神戸市各会計予算案及び関連議案を承認いたします。

要望事項

1. 自転車走行空間の拡充のみならず、安全で快適な走行空間の実現のため、整備済み部分についても状況に応じて改良を行うこと。また三宮クロススクエア構想と三宮への自転車によるアクセス向上は一体不可分であるとの認識の下、三宮を中心とした自転車の東西幹線について優先的な整備を行うこと。
2. 「こべっこウェルカムプレゼント」に関しては、子育て世帯の記憶に残るような工夫を一層求めること。
3. コロナ禍で事業継続のための懸命な努力をしている港湾関係事業者に対し、市民生活に欠かせないエッセンシャルワーカーであるとの認識の下、丁寧な聞き取り等を行いつつ、適切に事業継続のためのサポートを行うこと。
4. 教員の会計事務のさらなる負担軽減のために、実態の正確な把握と抜本的な改革を行うこと。
5. 中央卸売市場本場の事業者の方々のご理解の上で、県立兵庫津ミュージアムの開館を機会に、市場への理解や地域活性化のための工夫に取り組むこと。
6. 予約図書自動受取機の利便性向上や、コロナ禍において図書館への来館をはばかる方の増加に対応するため、レファレンスサービスの認知度向上にさらに取り組むこと。
7. 「メトロこうべ中間通路」のさらなる活性化のための工夫を矢継ぎ早に検討、実施すること。